

健康安全教育	運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を送る態度を育てる。	○年間計画に沿って、洪水、Jアラートの訓練などいろいろな想定で命を守る訓練を継続的・計画的に実施ができた。 ○中学校2年生は防災士講座で防災に対する意識を高め、救命救急法も体験できた。 ▲体育の授業では、運動時間を十分確保し、運動能力を高める指導を確実に行う。コロナウイルス感染拡大前に戻せる活動は戻していき、体力の向上を図る。	A	A	B
			82.3	85.3	76.3
特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる。	○校内支援委員会の実施や個別の支援計画の作成、ケース会議の実施などにより、一人一人の特性に合わせた支援を行うことができた。 ○コーディネーターや主幹教諭、指導教諭を中心に児童の実態に合わせた支援体制づくりができた。 ▲校内研修で特別支援教育について学ぶ場を継続していく。また、PTA総会、学校だより等で保護者の方への啓発も行う。	B	A	B
			78.0	84.9	76.8
人権教育	自他の大切さを認め、互いに人権を尊重する望ましい人間関係を醸成する。	○日頃からいじめや差別を見逃さないように全職員で見届け、誰かを傷つけるような行為には毅然とした態度で対応できた。 ○かがやき見つけの取り組みを継続して行ったことで、仲間のよいところを見つけよう意識させることができた。 ▲SOSの出し方教育の推進と相談体制の強化を図る。	A	A	A
			81.7	83.9	83.3
ICT教育・図書館教育	教育の情報化を推進するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成する。	○校内研究会やICT活用研修などで協働的な学びにつながる活用について学ぶことができた。 ○タブレットを使うことを目的として2年前と比べ、課題解決の一つのツールとして活用ができた。 ▲ICTを使う時間が増えることでネット上のトラブルが増えた。町の情報モラル宣言等を活用し、正しいネットとの付き合い方ができるように指導する。	A	A	A
			80.4	86.6	82.8

社会教育

領域	重点目標	成果と課題	R4評価	R3評価	R2評価
家庭教育	家庭教育に関する学習機会の提供。 子育ての支援と教育環境の整備。 地域づくり会議やPTA等の連携。	○新型コロナウイルス感染予防のため事業が縮小され、各園各校とも在宅型取組型が行われた。こども園は、年間を通して「おやくそく」を各家庭で取り組んだ。参加率は約85%であった。小中学校は、長期休暇中に、親子レジン・親子工作・お手伝い等を実施した。参加率はほぼ100%であった。 △町主催の合同家庭教育学級は、外部講師による講演型を年間3回実施した。新型コロナウイルス感染予防のため参加者が少なかった。	B	B	A
地域教育	子どもたちの社会参加・地域活動の促進。	○青少年育成町民会議に関わる地域作り諸行事にかかわって小中学生がネットモラルに関わる標語等の募集に積極的に参加できた。 △「輪之内町情報モラル宣言」を家庭・学校で取り組んだが、新型コロナウイルス感染症予防のため地域づくり事業は中止となった。形式を工夫するなどして継続する必要がある。	B	B	B
生涯学習環境	家庭、学校、地域社会が連携し、社会全体で子どもたちを包む地域づくり活動の推進。	○高齢者教室「みつば学級」を開設し、教養・健康・軽スポーツなど、その時々に応じた分野の講座を通年をとおして実施し、高齢者の生涯学習に取り組んだ。新型コロナウイルス感染予防のため参加者は少なかった。 △青少年育成町民会議に関わる地域づくりの諸行事を、新型コロナウイルス感染予防のため規模や回数を縮小して実施し、豊かな体験活動、健全な社会環境づくりを進めた。 ○小学生対象の総合的な体験学習講座である「わのうち未来塾」を、新型コロナウイルス感染予防のため定員を30名に減らして実施した。希望者が多く約6割しか参加できなかった。子ども体験学習は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。	B	B	B
生涯学習体制 指導者	地域における主体的な社会教育活動を支援する取組の推進。	○町および地区の青少年育成推進員の方のご尽力により、各地区における活動が関係諸団体と連携を図りながら進められ、豊かな体験活動や啓蒙活動、健全な社会環境づくりに貢献した。 △子どもたちが主体となった活動を意図的に仕組んでいきたい。	B	B	B
芸術文化の振興	文化芸術活動の振興。 子どもの文化芸術体験の充実。	○町文化祭を3年ぶりに開催したが、例年の開催状況を考えると作品出展数が少なく、来場者も少なかった。 ○子ども対象の事前講座や「わのうち未来塾」の内容が充実していて、参加者が増えてきた。 △新しい文化サークルを開拓し、活性化を図る必要がある。	B	-	-
伝統文化と郷土の歴史の保護継承	文化財や伝統芸能の保存・伝承・活用への支援。	○小学生に対して文化財の理解をすすめるため、文化財保護審議会にて冊子「輪之内町の文化財」の小学生版の作成に継続して取り組んだ。 △伝統文化財継承(6団体)は、新型コロナウイルス感染防止のため、4団体のみ活動を計画したが、十分な活動ができなかった。	B	B	A
スポーツ推進体制	スポーツ環境の諸整備(スポーツ推進体制の充実と施設の整備)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、小学校区ごとに「地区スポーツ振興会」を設置し、ふれあい運動会を計画していたが、中止となった。 △利用者増加に伴い、希望日の重複が発生している。予約システム等で使用の平等な環境を整備していきたい。			
	生涯スポーツの振興(県民1スポーツ運動)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、スポーツクラブが運営する体験型のスポーツ、レクリエーションイベントは中止となった。 △直接の町組織ではないが、クラブ運営の安定化に向け、人材確保が急務である。	-	-	-
	「県民1スポーツ運動」具現のための指導者育成	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、スポーツ推進委員やレクリエーション協会の有識者が、講習会等で助言する機会が無かった。地区スポーツ推進委員が参加する事業も、中止となった。			